八大島 水産だより

4月号

2007





山には大島桜が満開、山のふもとにはがフリージアが咲き、まさに春真っ盛りです。 今年から、八丈島に5校あった小学校2校が統合され、4校の小学校でスタートすること になりました。

漁業は、春は春トビとカツオが一気にやってくるので、一年のうちで漁師さんが、寝る間も惜しんで一番 頑張る季節です。

昨年は、カツオが不漁でしたが、今のところ、カツオ と春トビは、豊漁だった一昨年と同じくらい獲れています。



■産業祭が行われました



春のイベント産業祭が3月17・18日の両日行われ、延べ4,444人の来場で、にぎわいました。農林水産、商工業者の皆さんが、丹精込めて作った農作物や、特産物が出品され、展示品が許会が行われました。また、郷土料理の試食と販売もあり、水産物では、すり身汁の試食やカツオとトビウオの鮮魚、トビウオのミンチ加工品やムロ節ご飯の販売が行われ、いずれも好評でした。

■稲城市でも調理講習会を行いました

3月23日に、稲城市で八丈産の魚を使った調理講習会が行われ、八丈支庁水産係職員が、講師を勤めました。

受講者の皆さんは、初めて丸のトビウオを見たり捌いたり、多くのレシピがあることを知り、とても喜んでくださいました。

八丈島の魚の都内での流通にはずみがつくことを期待しています。

